

北海道苫小牧市の死亡野鳥から今シーズン初の 高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)を検出

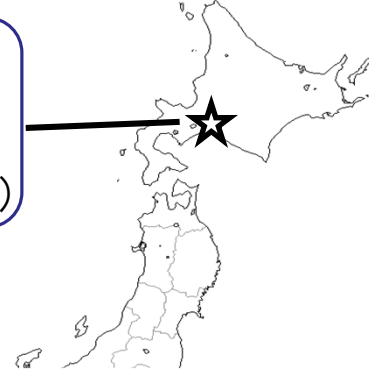
北海道苫小牧市

●概要:

10月15日 死亡野鳥(オオタカ)1羽を回収

10月17日 遺伝子検査によりウイルスを検出(H5亜型)

※10月10日の宮城県栗原市の事例は、
その他のA型インフルエンザウイルスと判定。



☆ハイリスクシーズンに入っています。
ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします。

◇ 人・車両・物によるウイルス持込み防止対策

- 衛生管理区域に出入りする車両消毒
- 衛生管理区域専用の衣服と靴の着用
- 家さん舎ごとの専用靴の着用、手指消毒

◇ 野鳥を含む野生動物の侵入防止対策

- 金網や防鳥ネットの隙間や破れ、鶏舎の開口部
(集卵・除糞ベルト)等を再確認し、塞ぐ
- 家さん舎周辺の整理整頓、樹木の剪定や除草
- 誘因防止対策(死体や廃棄卵の適切な処理、たい肥舎・ため池での防鳥ネット・忌避テープの使用など)

早期発見・早期通報が重要です！

通常と異なる症状が認められる場合は、家畜保健衛生所へ

☆まとまって死亡している

☆元気がない

☆餌食いが悪い

☆沈うつ

☆産卵率の低下

滋賀県家畜保健衛生所

(本所)

近江八幡市西本郷町226-1

TEL:0748-37-7511 FAX:0748-37-4821

緊急携帯:090-3613-7486

(北西部支所)

高島市今津町弘川249-1

TEL:0740-22-2145 FAX:0740-22-6681

緊急携帯:080-6176-8052